

令和 7 年 6 月 23 日

7 月 21 日より関東経済産業局は大阪・関西万博において展示を行います
「食」からのぞく！ 関東の優れたモノ・コト・ワザを発信します

関東経済産業局は、「地域企業と共創し、関東の優れたモノ・コト・ワザを、未来社会を担う若者・こどもに紡ぎたい。」をコンセプトに、身近なテーマである「食」を切り口とした展示を行います。

関東地域は、多くの企業本社や中小・ベンチャー企業が集積するビジネスの中心地として、日夜最先端の技術・製品が生み出される一方、多様な環境に紐付く食や工芸品、観光など、脈々と受け継がれてきた地域資源が息づいており、日本の未来のために大切にしていきたい、「関東の優れたモノ・コト・ワザ」があります。

大阪・関西万博において、その「関東の優れたモノ・コト・ワザ」を、未来社会を担う若者やこども達に伝えるべく、地域企業と共創して、「食」のサイクルである「つくる」「たべる」「いかす」をテーマとしたブースを設置します。そのブースにおいて、フードテックマシンによる江戸前寿司の3D プリントの実演、管内 1 都 10 県の美しい工芸品により彩られた食卓の展示、アップサイクルを身近に感じていただくワークショップ等を行います。また、展示と連動して、関東経済産業局の SNS でも関連施策や展示品等の魅力発信を行います。

【展示概要】

日程：令和 7 年 7 月 21 日(月)～23 日(水)

場所：大阪・関西万博 フューチャーライフビレッジ 「TEAM EXPO パビリオン」

テーマ：「食」からのぞく！ 関東のモノ・コト・ワザ

※「食」のサイクルである「つくる」「たべる」「いかす」をテーマとした 3 台のブースの詳細は別紙のとおり。

■大阪・関西万博展示に関連した SNS の記事はこちら。

・ [#関東も共に未来へ](#) (note サイトへ)



(本発表資料のお問合せ先)

関東経済産業局 産業部 次長 志村

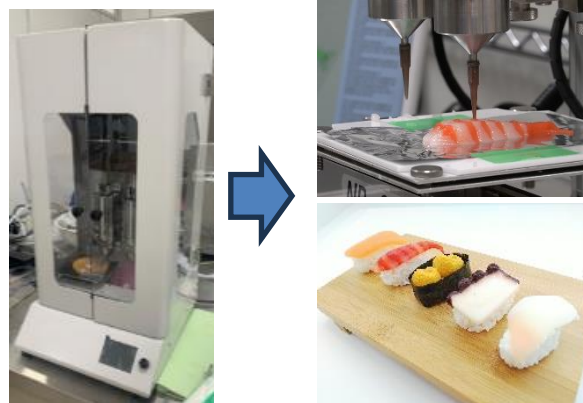
担当者：流通・サービス産業課 門田、田口

電話：048-600-0314(直通)

「つくるブース」 “フードテックで「未来の食」をつくる”

展示内容

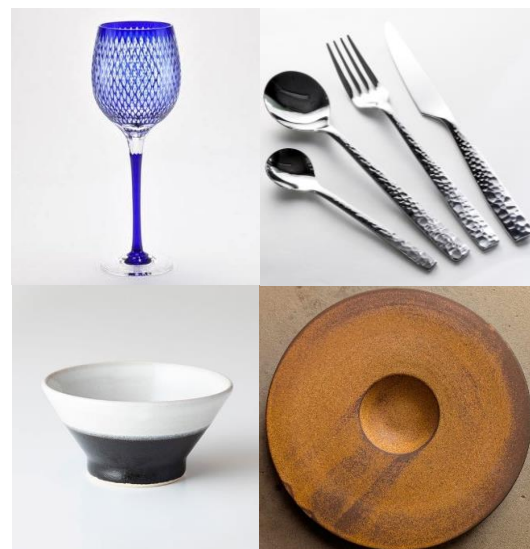
最新鋭のフードテックマシンで江戸前寿司を3Dでプリントするデモを実施し、最新のフードテックの可能性や食のあり方を考える機会を提供する。



「たべるブース」 “たべるを「彩る」”

展示内容

高品質なカトラリーやデザインされた器が、食材や料理をどれほど美しく引き立てるかを感じ、関東の培ってきた技術、工芸の楽しさを知ってもらう。



「いかすブース」 “食を「ふたたび」いかす”

展示内容

食品の端材・廃材等を新たな製品に生まれ変わらせる技術、アップサイクル、資源循環を身近に感じてもらう。そのため、製品とその途中の素材を展示するとともに、アップサイクルで生まれた絵具で絵を描くワークショップを実施する。



【協力企業等】

展示に当たっては以下の企業・団体等と連携して実施します。

「つくるブース」

- ・江戸前寿司をプリントする 3D フードプリンター（国立大学法人山形大学）

「たべるブース」

- ・笠間焼の皿（KeiCondo）
- ・益子焼の茶碗（有限会社陶庫）
- ・栃木県鹿沼市の栓ビアタンブラー（星野工業株式会社）
- ・桐生織のファブリックスタンド（有限会社井清織物）
- ・桐生織のランチョンマット（森秀織物株式会社）
- ・埼玉県川口市の錫酒器（錫光）
- ・埼玉県深谷市のスパークリング日本酒（滝澤酒造株式会社）
- ・埼玉県川越市のクラフトビール（株式会社協同商事）
- ・江戸硝子の小鉢（菅原工芸硝子株式会社）
- ・江戸切子の酒器（木本硝子株式会社）
- ・江戸切子のワイングラス（株式会社江戸切子の店華硝）
- ・箱根寄木細工の箸置き（株式会社露木木工所）
- ・新潟県燕市のカトラリー（山崎金属工業株式会社）
- ・新潟県佐渡市の日本酒（尾畑酒造株式会社）
- ・新潟漆器の皿（新潟漆器株式会社）
- ・木曽漆器の箸、お椀（木曽漆器工業協同組合）
- ・木曽漆器のプレート（有限会社丸嘉小坂漆器店）
- ・甲州水晶貴石細工のグラス（株式会社詫間宝石彫刻）
- ・駿河竹千筋細工の菓子器（有限会社みやび行燈製作所）

「いかすブース」

- ・野菜の端材をアップサイクルしたパウダー「ぐるりこ」（ASTRA FOOD PLAN 株式会社）
- ・ホタテ貝殻をアップサイクルした「ダストレスチョーク」と米ぬかをアップサイクルした絵具「キットパス」（日本理化学工業株式会社）